

東京国公だより

【電話】03-3501-6973

【FAX】03-3500-4391

【Eメール】

office@tk-kokko.org

UR : <http://tk-kokko.org/>

東京国家公務員・独立行政法人労働組合共闘会議 19-28号 2020/10/04

東京国公第60回定期大会

1. 大会開催日時

10月1日(木)～10月31日(土)

2. 運営方法 書面開催によることとします。

<具体的運営スケジュール>

- ① 議案書送付 10月1日(金)
- ② 第60期大会公示 10月1日(金)
- ③ 第60期東京国公役員選挙公示 10月1日(金)
- ④ 議案書に対する質問・意見等
10月1日(金)～10月14日(水)
- ⑤ 第60期東京国公役員選挙立候補期限 10月14日(水)
- ⑥ 上記質問・意見等に対する総括答弁 10月21日(水)
- ⑦ 総括答弁を踏まえた再質問・意見等
10月22日(木)～10月28日(水)
- ⑧ 再質問等による追加答弁【あれば】 10月30日(金)
- ⑨ 第60期定期大会 議案に対する投票
11月1日(月)～11月6日(金)
- ⑩ 第60期定期大会 開票 11月9日(月)
- ⑪ 投票結果を受けた大会決定
10月31日(土)付とします。

※さかのぼっての大会決定とします。

職場に労働組合が存在することの重要性を再確認
—コロナ禍での雇調金改善や失業手当給付期間延長(60日)に関わって
様々な方からお礼や激励の言葉も寄せられました

新型コロナウイルス感染症等の影響に対応するための雇用保険法の臨時 特例等に関する法律(令和2年法律第54号)

により、個人での休業支援金申請が可能となった事やすでに知らせの失業手当の60日支給延長などは、コロナ禍での生業

維持、生活の安定という点では、さらなる制度設計を求めたいと思いますが、労働行政の対としては画期的です。



声をあげることの大事さを再認識です。
個人申請などの制度は事業主に對し、なかなかの言えない労働者を救済する内容も含みますから、やはり職場に労働組合が存在することの大事さ改めても教えてくれました。

「コロナ禍、要求を声にして広げることこそ大事です」東京国公もその一役を担ってきました

東京国公も要 求実現に一役 担いました

コロナ自粛は20春闘時期には、日本経済を激しく襲い始めました。労働者、とりわけ非正規労働者は解雇、雇止めという形で容赦なくその生業を奪われています。(下図を参照のこと)

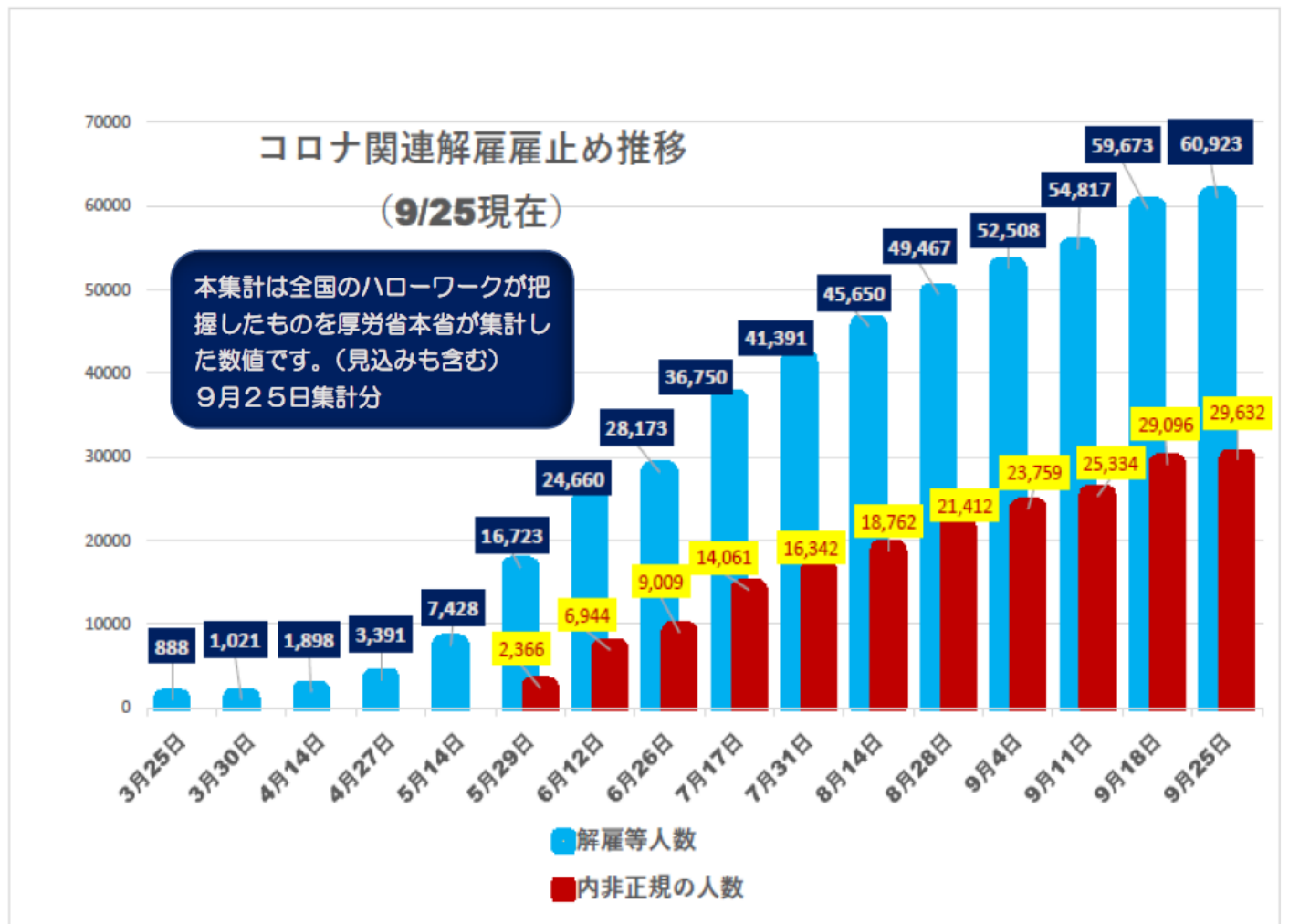
東京国公は「官民共同行動実行委員会」や「東京春闘共闘」の皆さんと共同で各省交渉を実施しつつ、HP、ツイッター、フェイスブックを通じて、雇用調整助成金のアツ



プや失業手当支給日数の延長、個人での休業支援金申請、企業支援としては「持続化給付金支給」の拡大、新規事業者への適用などの実施を要求し続けました。その間全労働東京基準支部からは政策上のアドバイスもたくさんいただきました。その結果労働者・国民の皆さんの大きな世論と相まって、たくさんの要求が実現しました。国公労働者の組織としての役割を大いに発揮したと自負できます。

ハローワーク・労働基準監督署 職員への激励も 多数

春闘期以後、多くの国民・労働者の方々から、国公職場の人員不足の実態も知っていただき、コロナ禍で奮闘する労働の仲間への激励も多数寄せられています。



国民・労働者の生命・財産、安全と安心、生活と権利を守るためにも国家公務員の増員を求めましょう！